



型 式

PR-8326 定価 68,000円

回転・速度・流量マルチ指示計
PR-8326

特 徴

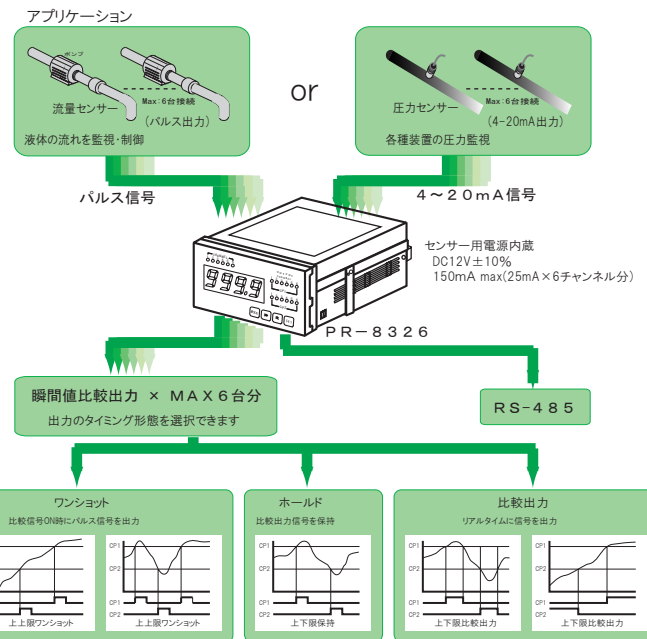
- 一つの表示器で最大で6台のセンサー対応できます。
- 測定入力信号は、パルス入力又はアナログ入力選択可能
- 表示サンプリング時間は0.2~3.0秒にて設定
- チャンネルごとに3~30秒にて切替表示が可能
- スケーリングはキープログラムで自由自在
- 上下限、上限二段、下限二段の比較方式を簡単に選択設定
- リニアライズ機能は各チャンネルごとに最大10ポイントで任意に設定
- 強制ゼロ機能により、ゼロ点調整がいつも簡単
- 電源オンディレーで、計測システム立ち上げ時の誤動作を防止
- 外部出力RS-485通信機能装備

● 測定入力		
入力方式		シングルエンド入力(電源とはアイソレーション)
アナログ入力		4~20mA、入力抵抗:20Ω
パルス入力		オープンコレクタ入力 入力応答 0~1500Hz (但し、duty50%)
許容過入力	アナログ入力	100mA
	パルス入力	DC35V
A-D変換方式	アナログ入力	二重積分方式
パルス測定方式	パルス入力	周期測定方式
スケーリング方式		キースイッチ入力によるデジタルスケーリング方式 「MAX入力周波数」と「MAX入力時の瞬間値表示値」 による ※CH1~CH6 チャンネルごと設定可能
MAX入力周波数	パルス入力	キースイッチにより設定 ※CH1~CH6 チャンネルごと設定可能
移動平均回数	パルス入力	キースイッチにより設定 0~10回
瞬間値測定精度	Ta=+23°C±5°C 35~85%RH, 1年間 スケーリング設定(9999)	アナログ入力: ±(0.1% of FS + 1digit) パルス入力: ±(0.05% of FS + 1digit)
	瞬間値温度ドリフト	Ta=0~+50°C ±(100ppm of FS)/°C

● 表 示		
表示桁数		9999表示 (4桁表示)
チャンネル表示	CH1~CH6表示	選択チャンネルの橙色LEDランプ点灯
比較出力表示	CH1~CH6二段表示	比較出力「ON」時緑色LEDランプ点灯
表示サンプリング時間		0.2~3.0秒 (エントリチャンネル数で制限)
表示器		14.2mm文字高7セグメント赤色LED表示器
比較出力表示		比較出力ON時LED点灯
小数点表示		キースイッチにより任意の桁に点灯表示可能
オーバーフロー表示		数値表示LED表示器がブリンク
ゼロサプレス		小数点が設定されている桁より上位の桁はゼロサプレスされる
表示動作切替		CH1~CH6 固定表示動作及びローテーション表示動作を選択設定 キースイッチまたは、3bit 外部入力により切替設定

● 比 較		
比較動作		CH1~CH6 二段警報出力動作 (上限・上限/上限・下限/下限・下限)
比較値設定	CH1~CH6 二段設定	キースイッチ入力設定方式
比較値設定範囲		99999 digits
比較出力		リレー接点出力 1メーク接点(1a接点) 35VDC・0.1A(抵抗負荷)
比較動作設定		キースイッチにより切替設定

● 環 境・その他		
動作温度		0~+55°C
動作相対湿度		35~85%RH(結露しないこと)
保存温度		-20~+70°C
外形寸法:48H×96W×約130D(mm)	重量:約400g	ケース:プラスチックモールド製

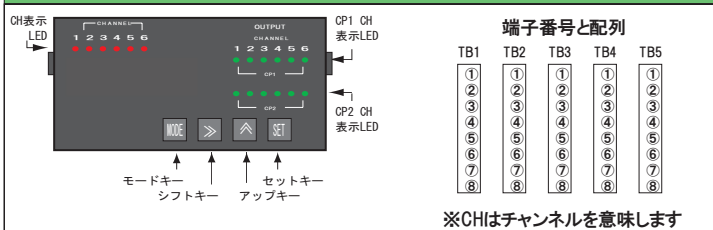


● 機 能		
メモリーバックアップ	EEPROM	各設定データをバックアップ 書込回数:約100万回 保存期間:約10年
LOWカット機能		0~30% of FS のカット率をキースイッチにて任意設定可能
入力モニター機能		CH1~CH6の測定入力周波数を表示
瞬間値モニター機能		CH1~CH6の瞬間値表示値を選択表示
比較出力モニター機能		CH1~CH6の比較出力CP1及びCP2の設定値を選択表示
プロテクト機能		キースイッチにて設定値のプロテクト設定
リニアライザー機能		設定値とオフセット値で入力 入力点数:10ポイント(max) 設定範囲:-30%≤設定値≤+110%
表示動作外部切替入力		リレー接点入力またはNPNオープンコレクタ入力(3bit、負論理入力) 瞬間値表示の表示動作を、固定表示動作、ローテーション表示動作またはキー入力での表示動作またはキー入力での表示動作から選択可能
外部インターフェース		RS-485

● センサー用電源		
出力電圧	Ta=+23°C±5°C	DC12V±10%
出力電流		150mA max(25mA×6チャンネル分)

● 供給電源		
電源		DC12~24V(-10%/+25%)
電流	DC24V(DC12V)	約400mA(約800mA)

● 各部の名称・外部入出力端子の接続

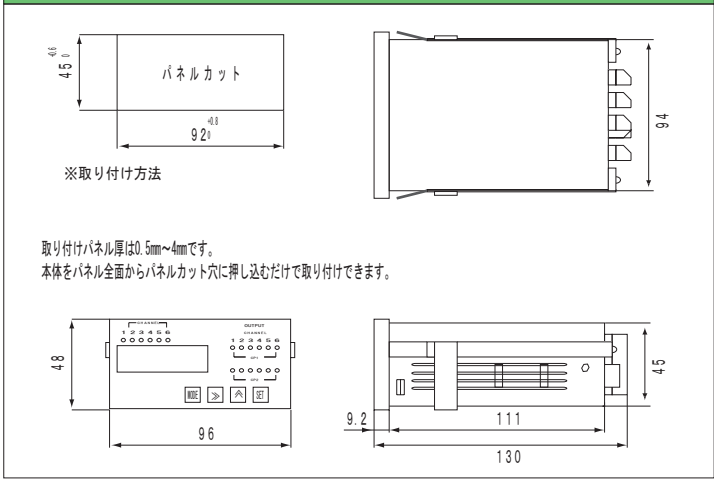


※CHはチャンネルを意味します

端子台	端子番号	端子信号名	機能内容
TB1	①	CH1	CH1の4-20mA又はパルス信号入力端子
	②	CH2	CH2の4-20mA又はパルス信号入力端子
	③	SCOM	CH1及びCH2の信号入力とセンサ用電源のコモン端子
	④	+12VOUT	CH1及びCH2のセンサ用+12V電源出力端子
	⑤	CH3	CH3の4-20mA又はパルス信号入力端子
	⑥	CH4	CH4の4-20mA又はパルス信号入力端子
	⑦	SCOM	CH3及びCH4の信号入力とセンサ用電源のコモン端子
	⑧	+12VOUT	CH3及びCH4のセンサ用+12V電源出力端子
TB2	①	CH5	CH5の4-20mA又はパルス信号入力端子
	②	CH6	CH6の4-20mA又はパルス信号入力端子
	③	SCOM	CH5及びCH6の信号入力とセンサ用電源のコモン端子
	④	+12VOUT	CH5及びCH6のセンサ用+12V電源出力端子
	⑤	/SEL4	各部表示動作切替信号入力端子 ※有接点で入力
	⑥	/SEL2	(負論理入力)/SEL1,SEL2,SEL4の3bitの組み合わせ
	⑦	/SEL1	で表示動作を切替えます
	⑧	DCOM	/SEL1,/SEL2,/SEL4の信号入力のコモン端子
TB3	①	CH1CNT1	CH1のCNT1比較出力端子
	②	CH1CNT2	CH1のCNT2比較出力端子
	③	CH2CNT1	CH2のCNT1比較出力端子
	④	CH2CNT2	CH2のCNT2比較出力端子
	⑤	CH3CNT1	CH3のCNT1比較出力端子
	⑥	CH3CNT2	CH3のCNT2比較出力端子
	⑦	CNTCOM	CH1CNT1~CH3CNT1及びCH1CNT2~CH3CNT2
	⑧		比較出力のコモン端子
TB4	①	CH4CNT1	CH4のCNT1比較出力端子
	②	CH4CNT2	CH4のCNT2比較出力端子
	③	CH5CNT1	CH5のCNT1比較出力端子
	④	CH5CNT2	CH5のCNT2比較出力端子
	⑤	CH6CNT1	CH6のCNT1比較出力端子
	⑥	CH6CNT2	CH6のCNT2比較出力端子
	⑦	CNTCOM	CH4CNT1~CH6CNT1及びCH4CNT2~CH6CNT2
	⑧		比較出力のコモン端子
TB5	①	T/R(A)	外部との通信用RS-485信号端子です
	②	T/R(B)	外部との通信用RS-485信号端子です
	③	SG	外部との通信用RS-485信号のコモン端子
	④	NC	何も接続されていません
	⑤	U(+)	電源入力端子 ※外部から駆動用電源を供給
	⑥		電源の<+12V~-+24V>を接続
	⑦	V(-)	電源入力端子 ※外部から駆動用電源を供給
	⑧		電源の<0V>を接続

- 入力はシングルエンドタイプ
- センサ入力は、パルス入力又はアナログ入力のどちらかを選択(設定)して使用します
仮に、センサ入力にパルス入力を選択(設定)した場合、全てのCHがパルス入力となります
- 比較出力CNT1/CNT2は、全てリレー接点(a接点)出力です
又、コモン端子CPCOMは全て共通(内部で接続)です
- 入力コモン端子SCOMは、全て共通(内部で接続)です
- SCOM端子とCPCOM端子は、各々独立したコモンです

● 外形寸法・パネルカット寸法



※取り付け方法は、取り付けパネル厚は0.5mm~4mmです。本体をパネル全面からパネルカット穴に押し込むだけで取り付けできます。

● 通信仕様	
RS-485	信号線:2本、接地線:1本
通信速度	9600bps, 19.2kbps, 38.4kbps
語長構成	8bit、ノンパリティ、1ストップビット
フロー制御	なし
伝送コード	ASCII

■ 使用に当たっての注意事項

- 一般的注意事項
- (1) デジタルパネルメータ(DPM)やデジタルスケールメータ(DSM)、デジタルメータリレー(DMR)のご使用に当たっては、必ず取扱説明書をお読みください。
 - (2) 供給電源は、許容電源電圧範囲を超えないように十分ご注意ください。
 - (3) EARTH(アース)端子は、飛び込みノイズ対策の点から、できるだけ大地アースまたは筐体アースに接続してご使用ください。
 - (4) 配線に当たっては、取扱説明書及びコネクタピン配列(端子台端子配列)図を見て、正しく接続してください。誤配線があると、DPMやDSM、DMRの破損につながりますので、十分ご注意ください。
 - (5) コネクタピンへのハンダ付の際は、ハンダゴテのリークには十分ご注意ください。できるだけ、コネクタを本体から取りはずして、コネクタ単体でハンダ付されることをお勧めします。
 - (6) ネジ端子の配線に当たっては、圧着端子やドライバは適合品をご使用ください。不適合のものを使用されると端子台がかけたり、ビス頭の十字穴がつぶれたりする恐れがあります。
 - (7) デジタルパネルメータの信頼性は環境条件により大きく左右されます。0~+55℃の周囲温度範囲内でご使用下さい。筐体組み込みなどの場合は、内部の温度が+55℃を越えないように通風には気をつけてください。20~85%RHの相対湿度範囲内でご使用ください。結露が起きないようにご注意ください。
 - (8) 長期間使用しない場合は、製品出荷時と同様な梱包状態にして、直射日光の当たらない、できるだけ低温度の場所で、-20~+70℃の周囲温度範囲内で保存してください。



※他弊社製品は、AXIS計測器カタログVol.2をご閲覧下さい。
※AXISでは標準品以外のご要求にも応じておりますので、お気軽にご相談下さい。

※特殊仕様、受託開発(OEM)でのご提供にも対応可能です。
・デジタル指示計/デジタルコントローラ ・アナログ/デジタル変換機器 ・各種電子制御機器

ご使用上の注意 製品をご使用の際は、取扱説明書及び、使用に当たっての注意事項を必ずお読みください。

カタログご注意事項 ●カタログ記載内容は、製品改良などにより予告なく変更する場合があります。 ●カタログに記載しております製品・規格値は代表仕様ですので、ご使用の際は営業担当にお問い合わせの上、ご仕様確認をお願いします。

AXISのホームページ www.axis-tokyo.jp

ア ク シ ス
AXIS株式会社
宮技本部 〒101-0021 東京都千代田区外神田 6丁目5番4号 偕楽ビル3階
TEL: 03-3835-9511 FAX: 03-3835-9512
伊豆事業所 〒413-0515 静岡県賀茂郡河津町谷津 325-1
TEL: 0558-34-3301 FAX: 0558-32-0018

製品のご用命は...